



阿南高専便り



明正寮ピザ窯製作見学（岡山県 パーマカルチャーセンター上粕）



高専祭 専門展示



第44回四国地区高専総合文化祭 吹奏楽部門



第47回徳島県職業能力開発促進大会
優秀技能士知事表彰
優良技能士表彰



第77回国民体育大会ボウリング競技
少年男子団体戦 第4位

CONTENTS

- 2 … 校長挨拶
- 3 … 各種大会報告・別れのあいさつ
- 4 … 卒業を祝う
 - ・機械コース
 - ・電気コース
 - ・情報コース
 - ・建設コース
 - ・化学コース
- 14 … 修了を祝う
 - ・専攻科
- 15 … 図書館便り

校長からのメッセージ

リスクを恐れず、 自己変革を続けて道を拓こう

阿南工業高等専門学校
校長 箕 島 弘 二

卒業・修了おめでとうございます。皆さんが履修した日本独自の高専教育カリキュラムは海外からも注目されており、日本型「KOSEN」がタイ、ベトナム、モンゴルで開校、国内でも徳島県内に私立高専が今年4月に開校し、さらに少子化の中にあって滋賀県野洲市に県立高専を2027年に開校すべく準備が進められています。皆さんは、このように日本のみならず海外からも注目されている、モノ作りを通して工学を学ぶ高専教育を履修したことを誇りにして、新たな道に踏み出してください。

高度成長時代の「産業のコメ」は鉄鋼でしたが、近年では半導体が鉄鋼にとって代わり、あらゆるモノに組み込まれ、半導体技術の進歩と軌を一にする情報・通信・AI技術の発展と相俟って、社会に大きな変革を引き起こしています。半導体技術は、Mooreの法則[†]とよばれる経験則「半導体の集積度（～性能）は2年で倍になる。」で表される指数関数的な進歩を特徴としており、最先端の量産高性能半導体の回路幅はわずか3～4nm（試作品では2nm、量産化は2025年見込み）と、原子10個分より小さくなっています。さらに小さくなると、Mooreの法則は物理的制約やコスト等の問題により終焉するとの考えもありますが、素子の3次元化やチップの積層化、あるいは量子コンピュータなどの革新的技術によって、半導体関連技術、情報・通信・AI技術は広範囲の分野に今まで以上に急激な変革を生じさせるでしょう。したがって、専門分野によらず、情報・通信・AI技術の基礎事項やデータ科学を深く理解しておくことが必要であることはいうまでもありません。一方で、専門分野の技術者・研究者としての本領を発揮するためには、AI技術でも解決できない多くの課題に果敢に挑戦できる能力を身につけておくことが重要になります。このためには、工学はもとよりその基盤となる数学・物理・化学の本質を深く理解したうえで初めて可能となる「仮説を論理的に構築できる能力」を身につけておくことが不可欠です。

このような急激な変革が生じる皆さんの時代では、場合によっては必要とされるスキルが大きく変わって、単なるスキルアップではなく、所謂リスクリングに迫られることもあるでしょう。日本人の多くは、教育、就労、そして引退の三つのステージからなる人生を送っていましたが、急激な変革が生じるこれからは、年齢と関連づけられるライフステージではなく、Linda Grattonが提唱する、個々の人が熟考して自ら決定するマルチステージの人生（簡単な例では、就労の後に教育、次に就労・起業など）を送ることが適切になることもあるでしょう。一人の技術者・研究者として有意義な人生を送り、社会に貢献するためには、常に自己変革を続けて人生を切り開くための多くの決断が必要になります。リスクを恐れず道を拓いて、素晴らしい活躍をすることを願っています。

[†] Intel創業者の一人であるGordon E. Mooreの半導体の集積度に関する論文をもとに、Carver A. MeadがMoore's lawと名付けたものである。1.5年で倍になるとしているものも多いが、Mooreは、「1.5年でコンピュータの性能は倍になる。」というDavid Houseの予想と混同したものではないかと指摘している。（日本大百科全書（ニッポニカ）、JapanKnowledge Lib、小学館）

各種大会報告

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
一般社団法人日本サーフィン連盟公認志摩市長杯クリーンビーチ CUP					
2022.9.11	個人	ジュニアクラス	優勝	3M	鳥 湯 一 太
令和4年度阿南市体育祭					
2022.10.10	団体	弓道の部 阿南高専 A チーム	第3位	2E	森 悠 生 2E 記 本 航 希 2C 木 村 響
第67回徳島県総合選手権大会 バドミントン競技					
2022.10.15	団体	男子 二部団体	準優勝		
徳島県高等学校新人柔道選手権大会					
2022.10.15	個人	男子 個人 60kg 級	優勝	1-1	花 岡 蓮
徳島県高等学校空手道新人大会					
2022.10.30	個人	女子 個人組手 -53kg 級	第3位	1-2	木 内 悠 美
第45回徳島県高等学校柔道選手権大会(旭峯旗高校柔道大会) 兼 第45回全国高等学校柔道選手権大会徳島県予選					
2022.11.12	個人	男子 個人 60kg 級	優勝	1-1	花 岡 蓮
第44回四国地区高等専門学校総合文化祭					
2022.11.12	個人	英語スピーチ コンテスト部門	第1位	3Z	辻 岡 健 人 第4位 4M 吉 永 小 晴
第50回全国高等学校選抜卓球大会徳島県予選					
2022.11.26	個人	男子 シングルス	第3位	1-3	四 宮 誠 人

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
令和４年度阿南市人権啓発標語・ポスター・人権作文					
2022.12.4	個 人	人権啓発標語	特選	3M	田 野 陽 菜
			入選	3C	清 田 蓮 華
				3E	柳 本 祐 治
				3Z	檜 原 彩 香
		3I		植 田 汐 音	
		人権啓発ポスター	入選	1-3	松 岡 実 莉
				1-4	滝 根 愛 実
				1-1	土 岐 心 陽
1-2	服 部 陽 助				
人権作文	最優秀	2E	佐 野 美 幸		
	入選	2I	國 方 圓 己		
第 44 回四国地区高等専門学校総合文化祭					
2022.12.10	個 人	絵画部門	佳作	5C	泉 遥 香
		書道部門	優秀賞	4E	元木奈々美
			佳作	3Z	中 西 慧
				2E	山 本 奏 有
		写真部門	佳作	2M	吉 田 万 葉
				2M	今 井 美 嘉
2022.12.11	団 体	吹奏楽部門	奨励賞		
第 50 回徳島県アンサンブルコンテスト (第 46 回全日本アンサンブルコンテスト徳島県大会)					
2023.1.15	団体	大学部門 金管五重奏	銀賞		

別れのあいさつ

私の宝物

情報コース 田 中 達 治

1991年にコンピュータメーカーを退職し、本校に採用されました。3月をもって定年を迎えることになりました。当時は大型計算機が主流でしたが、たった30年でパーソナルコンピュータやタブレット端末へと進化しました。通信も固定電話からポケットベル、携帯電話、スマートフォンへ発展し、現在では無線高速通信の時代を迎えています。

本校での30年間は多くの学生や教職員の方々との出会いがありました。最初に担任をした学生たちは50歳を迎え、その子供さんがすでに卒業していきました。これらの多くの出会いは私の宝物になりました。

学生の皆さんはこれから40年以上仕事をするようになります。これからも技術や社会環境はどんどん進歩していきます。皆さんはこれらの変化に対応できる能力を発揮して阿南高専卒業生として活躍されることを期待しています。



豊かな出会いと貴重な経験に恵まれて

一般教養 勝 藤 和 子

2005年の着任以来、阿南高専で過ごした年月は、豊かな出会いと貴重な経験に恵まれました。学生の頃からの夢だった英語を教え、研究できる職業に就けたことは、本当に幸運でした。担任業務では、学生の皆さんの成長に関わる喜びを日々感じ、元気をいただきました。広報業務では、阿南高専の魅力を伝える充実感を得ることができました。また、今思い返しても胸が苦しくなりますが、コロナ禍1年目には学生主事として部活動を休止しなくてはならず、学生や保護者の皆様につらい思いをさせていただきました。常に順風満帆だったとは言えませんが、さまざまな挑戦をし、多くの人に支えられ、達成感を味わい、教員として人として成長することができた18年間でした。

この3月で定年退職を迎えますが、来年度からも英語教科の指導を継続することになりました。「人生は60代から」の言葉を励みに、自身の英語教育力を深める新たな目標に向かって進みたいと思います。最後に、これまでご支援いただいた学生・保護者・教職員の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



5Mクラス集合写真

機械コース

贈る言葉

広く、深く根をのばせ

機械コース 5年担任 奥本良博

私の実家の庭に樹高約3mの金柑（キンカン）の木があります。柿より少し遅い時期に小さな黄色い実をつけます。元は東京に嫁いだ伯母が浅草の盆栽市で買って祖母に送ってきた鉢植えでした。ベランダで年に数粒小さな実をつけていたものを、田舎に引っ越した際に、母が庭に植え直したそうです。肥料も水も特に与えていませんが、その鉢植えが28年かけて、年に約千粒の実をつける木になりました。先日も寒空の下、実を一粒ずつ収穫し、全部で15kg採りました。なんとも言えない苦みを含んだ甘さが良い感じです。山吹色の金柑の実をいろんな人にお裾分けしました。

木が大きくなるには根をのばすスペースが必要です。その場の水と空気が成長に適しているという運も必要です。皆さんも卒業後は、高専より大きなフィールドで頑張って、運をつかんでください。そして、うちの金柑ではありませんがたくさんの実をつけて周りを幸せにするような存在になってください。

卒業を祝う



2M森永見学

■機械コース

1年担任	櫛田雅弘、山田洋平、谷中俊裕、西森康人
2年担任	谷中俊裕 3年担任 西本浩司
4年担任	松浦史法 5年担任 奥本良博

5年生の言葉

■仲間

栗田 なな

高専ではたくさんの仲間と出会えた。特に2年生から4年間多くの時間を過ごしたクラスメイトとは素敵な思い出をつくることができた。研修旅行で仲を深め、球技大会で力を合わせて良い成績を残してきた。テスト勉強も励まし合って乗り越えてきた。そんな仲間ともこれからはそれぞれの道に進むことになる。今までのようにそばで励ますことはできないが、これからも良きライバルとして仲間とともに頑張っていきたい。



■別れ

江口 魁人

今までの高専生活、自力で成し遂げたことももちろんあったが、友人や先生に頼ることの方が正直多かった。これから自立していかなければならない。助け合いも大事だが自力で解決する能力も大事だ。私は専攻科に進み多くの友人と別れることになる。しかし、その悲しさを乗り越え、さらに強くなる最大のチャンスだと考えている。この別れは力と可能性を与えてくれる出来事だと確信している。そして、いずれまた会えるとも。



■遠まわりして気づく

亀島 知起

将来の夢はレスキュー隊員。小学生の頃から変わらない夢です。中学で進路を決める際に工学系に興味のあった私は、父の母校ではなく高専を選びました。専門的な学習や企業研究をする中でだんだんと「夢」を忘れていきました。4年生後期、進路選択が近づいている時、先生に後悔はないかと聞かれハッとなりました。工学的な知識をもったレスキュー隊員。「夢」を忘れていた自分を原点に連れ戻してくれた先生に感謝します。



■協力のために不可欠なもの

神田 陸

他者との協力、それなくして社会で生き残ることはできない。高専では何をしても相手と力を合わせることが不可欠であった。特に部活動では、チームで一つのことに對してしっかりと目的意識をもたなければ作品を完成させることはできなかっただろう。私が所属していたロボ研では、皆何かしら自身の力を発揮し、話し合い、一つのロボットを完成させた。私は社会で、得意分野によってより貢献できるよう力を入れて学んでいきたい。



■楽しむ心

窪田 和海

高専5年間を通して常に「楽しい」を追求し続けた。勉強では友人に教えるのが楽しく、そのために努力した。部活のロボ研では加工する際に精度を出すのが楽しく、それを先輩に伝えてほめられた。私は、楽しむ



2M 体育大会

心を持つことは才能の一つと考えている。楽しむことができれば継続でき、いずれ力になる。高専はその才能を育み発揮できる最高の環境であった。就職後も楽しむ心を忘れずに生きたい。



■5年間の寮生活

高原 由衣

高専に入学後、親元を離れ、寮生活を送ってきました。初めて顔を合わせる友人と同室になり、最初は不安だらけの毎日でしたが、今では楽しい毎日です。寮生活の中で私は、女子寮長という非常に貴重な経験を積みました。コロナ禍で様々な難題がある中、仲間と取り組んだ時間は自分自身を何倍にも成長させてくれました。入寮したからこそ得られたものであり、今後の生活においても必ずこの寮生活は貴重なものとなるでしょう。



■部活動

野口 真斗

チームメイトよりも遅れて、7月に硬式テニス部に入部した。出遅れた分、部活動時間外の居残り練習をたくさんした。休みの日には遊ぶ時間を惜しんで走り込みもした。そうして実力も周りのチームメイトに追いついた3年の春、コロナで活動禁止、総体も中止となった。モチベーションは湧かなかったが、代替大会の開催が決まり練習が再開した。このとき私は仲間のいる楽しさ、そして幸せを知った。



■剣道

山本 悠貴

中学校から始めた剣道ですが、今年度で8年が経ちました。竹刀の振り方から足の使い方など基本から始まり、技の出し方、相手に応じることなど、学年や段位が増すごとに難しくなっています。剣道から学んだことは相手を重んじる精神、努力する大切さです。その学びは生活にも影響しており、友達や先生との交流、テスト、就活にも役立っています。これから先、剣道から学ぶことは山ほどあると思うので、続けていきたいと思っています。



2022年 卒アル

電気コース

贈る言葉

挑戦、そして成長

電気コース 5年担任 内野 翔太

ご卒業おめでとうございます。私は阿南高専に着任して2年目で初めての担任を務めました。必ずしも立派な担任らしい姿を見せられていたわけではありませんが、4から5年生と一緒に過ごした皆さんの卒業を思うと感無量です。新型コロナウイルスの渦中にて、遠隔授業や就職活動など学生生活に大きな影響があったと思います。その状況の中でも、卒業後の進路を定めることができ、卒業まで辿り着いた皆さんに敬意を払います。

4月から新たな環境での活動が始まります。そして、社会の課題に取り組む機会があるでしょう。未経験の課題に取り組むことに躊躇することもあります。自信を持って挑戦してください。高専で専門的な知識と技術を習得した皆さんは、社会の課題に挑戦できる人材に成長しています。失敗や挫折もあるかもしれませんが、そこから学ぶこともできますので、勇気を出して挑戦し、さらに成長してください。今後の皆さんの活躍を期待しています。

■電気コース

1年担任	櫛田雅弘、山田洋平、谷中俊裕、西森康人
2年担任	櫛田雅弘
3年担任	藤原健志
4年担任	香西貴典
5年担任	内野翔太

卒業を祝う

5年生の言葉

■あらゆる事象に“感謝。” 稲井 貴斗

阿南高専にたくさんの感謝すべきことがあります。まず授業実習で自らの能力が向上したことです。資格試験の勉強も有利に進められたと感じています。2つ目はたくさんの仲間に出会えたことです。同じエンジニアを目指す者同士で勉強したり遊んだりしたことは、とてもよい思い出となりました。また、わからないところを親切に教えてくださった先生方にも最大級の感謝を伝えたいです。5年間、本当にお世話になりました。



■最後の部活 大城 敦司

5年の夏、四国高専大会サッカー競技で準優勝という結果を収め、見事全国大会の出場権を獲得した。1年の時からサッカー部員として日々練習に励んできたが、あまり大きな結果を残すことがなかった。しかし、最高学年最後の大会、全国大会出場を目標に掲げ、チーム一丸となって部活動に取り組んだ。結果、目標を果たすことができ、また新たな目標が生まれた。高専最後の夏は笑って終わることができた最高の夏となった。



■バスケ愛 岸本 彩希

高専時代に最も力を入れたことは部活動です。ここ数年はコロナの影響で大会がなくなり、練習ができない日が続きました。それでも全国大会に行きたいという気持ちを胸に最後の大会まで頑張りました。結果は四国地区大会3位で全国には行けませんでした。同級生や後輩とともに涙と汗を流した時間はとても大切なものになりました。この大切な思い出を胸に、春から新しいスタートをきります。



■感謝の言葉 杉本 紘汰

卒業するにあたり、先生方に感謝したいです。担任の先生だけでなく、部活の先生方、授業をくださった先生方、就職活動を手伝ってくださった先生方、私に関わった全ての先生方に感謝を伝えたいです。高専ということで、先生方との付き合いも5年間と長かったですし、迷惑をかけてしまった先生方、お世話になった先生方もたくさんいます。その先生方全員に私はこの言葉を送ります。「ありがとうございます。」



■音楽 長谷川 菜月

高専時代に最も力を入れたのは部活動である。私は1年生から現在まで軽音楽部に所属している。コロナウイルス感染が広がり始めた頃に副部長になり、4年次には部長を務めた。当たり前のように行われていた



5年次球技大会

ライブができない。野外ライブを増やしたり、高専祭で無観客配信ライブを行ったりした。その中でたくさんの音楽がこの場所に残されてきた。そんな歴史の小さな欠片にでもなれたなら、私に悔いはない。



■友情 濱田 直希

私のいた中学校は生徒が少なく友人を作りにくいことはほとんどなかった。しかし、高専は学生数が多く、自分から話しかけないと友人は作れないと理解した。友人ができていく中で、自分がどんな人間なのか、改めて認識することもでき、精神的に成長することもできた。入学時には無限に広いように感じたが、次の4月には大学というさらに広い世界へ飛び立つ。私はこの学生生活を忘れないだろう。さようなら、ありがとう。



■心の変化 藤見 誠

入学に心躍った1年生の頃、5年生の大人びた雰囲気にも圧倒された。学校の大きさに心震えた。電気コースに配属された時の、これからへの期待は忘れられない。過去の自分を思い出すと、今の自分は成長したという実感に包まれる。大きく感じた学校も今では見慣れた景色となっている。私は専攻科に進学するが、専攻科を修了する頃には、また違った景色になっているだろうか。今を懐かしいと感じるだろうか。高専はやはり面白い場所だ。



■部活動 森野 純一郎

窓を閉め切り羽を打ち続けた。中学から始めたバドミントン、インターハイ出場を目標に日々努力し続けた。たびたびある県大会で各校のライバルたちと競い合い、上位の成績も残すことができた。目標が目の前にある気がして高いモチベーションを持って練習できた。しかし、コロナの影響で総体は中止となり自分の夏は終わった。だが、今まで努力し結果を出したことは自分の中でいつまでも残り続ける。



情報コース

贈る言葉

できる幸せとあげる幸せ

情報コース 5年担任 吉田 晋

卒業おめでとうございます。新しい門出を前に期待と不安があることでしょう。これからも大学や社会で多くのことを学び経験して成長していくでしょう。人生には“3つの幸せ”というのがあります。1つ目は生まれてからの“してもらう幸せ”で、ミルクをもらったり、世話をしてもらったりして、してもらう幸せを感じます。2つ目は“できる幸せ”で、学校に行く頃になると、色んなことを学び、できなかったことができるようになり“できる幸せ”を感じます。高専時代にはこのできる幸せを感じるがあったことでしょう。3つ目が“あげる幸せ”で、自分のできることが増えて回りの人に「してあげる」ことで幸せを感じます。この“あげる幸せ”が3つの中で最も幸福感が高く、人生が豊かになると言われています。新しい門出に、皆さんのこれからの益々の成長（できる幸せを増やす）と活躍（あげる幸せを増やす）に期待しています。

■情報コース

1年担任	櫛田雅弘、山田洋平、谷中俊裕、西森康人
2年担任	城本春佳 3年担任 福田耕治
4年担任	安野恵実子 5年担任 吉田 晋

卒業を祝う

5年生の言葉

■おもしろい

尾田 一真

おもしろい学校でした。すごい寮、ピンクの情報棟、先生。この5年はいろいろな意味で忘れないと思います。1%のきらめき。最新の阿南高専のポスターにはそう書かれていました。普通校とは全く異なる授業内容で特別な技術・知識を身につける私たち1%は、企業などにとっては本当に「きらめき」だと思います。私は卒業して大学に進学します。そこでさらに技術を身につけ自信をもちたいと思います。



■高専時代に最も力を入れたこと

木村 孝太郎

阿南高専で過ごした5年間の中で最も力を入れたことは部活動です。私は卓球部に所属し、2年次には主将を務めさせていただきました。当時は主将という役割に対し、めんどくささや不安がありました。しかし、後輩が入部してくる中でやりがいを感じ、今では阿南高専卓球部の主将になったことを誇りに思っています。この経験は自分の積極性や協調性の向上につながりました。貴重な時間を共に過ごしてくれた仲間感謝を贈ります。



■結局5年続けた柔道

楠 尊

高専入学時、柔道部に入るつもりはありませんでした。そもそも本校に柔道部があることを知りませんでした。ですが、何の因果か先輩に誘われるまま入部し、練習を続けるうちに全国高専大会に出場できるくらいの力を身につけていきました。部員も増え、今では15人を数えますが、私が1年生の時たった3人であったことを考えると、部を存続させたこと自体に驚きを隠せません。今となっては柔道を続けて本当に良かったと思っています。



■文化部を盛り上げること

高野 優作

ありがたいことに2年間落語研究部の部長をさせていただきました。ここでの活動が高専時代に最も力を入れたことだったと思います。部長になった年はコロナウイルスが予想以上に流行し、毎年行っていた公演が立て続けに中止となり、部活動において最も悩みました。しかし、数々の工夫を凝らし、文化部で初めて学内公演を実施し、1年後には学生公演も達成できた。ここまで来られたのは後輩たちのおかげ。感謝したい、ありがとう。



■技術よりも何よりも

長手 新之助

「もう辞めたい」と何回言っただろうか。学業がうまくいかない、そう言い訳した分だけ部活でも頭が回らず、厳しい規則がつきまとう寮生活も嫌で仕方なかった。しかし、こう思い続けて早5年。多くの技術を学んだが、何より心が成長したと感じる。共



5年次ハロウィンイベント

に学んだ友人、部活動の仲間、支えてくれた人たちに感謝で頭が上がらない。この阿南高専で培ったことは、私の人生の強固な土台となるだろう。



■私とは

溝 渕 智也

最も力を入れたことはリーダーシップや国際性を磨くことである。留学生とのコミュニケーションをはじめとし、いろいろな場で英語を話す機会に恵まれた。そのおかげで、英語のプレゼンテーションコンテストで四国大会2位という結果を収めることができた。こういった実績が周りから認められ、学寮での交際交流委員長をはじめ数々の場でリーダーとすることができた。つまり、高専5年間は私にとって本当に大切だったということである。



■学生会での活動を通して

山 尾 錬 輝

高専生活の中で最も力を入れた学生会の活動において、次の2つのことを学びました。1つは、様々な人と協力することの大切さです。様々な人と連携して多くの行事が成り立っていることを学びました。もう1つは、早めにやることの大切さです。期限ギリギリに準備し、もっと早く始めておけばもっと面白いイベントにできたのではないかと後悔することも多かったです。この学びがこの先の人生に活かせることを願っています。



■コネクターになりたかった

吉 本 磨 生

この阿南高専で人脈の獲得に努めてきた。元々は人と会話することを嫌う性格であったため、人間関係の構築というものに興味があったのだ。部活や学生会、寮での活動を基点に行動し、先生方や先輩後輩、いつも共にいてくれた同級生と広いつながりを作れたと感じている。この意識を持ち始めて一番良かったことは、人との会話が好きになったことだ。この5年間で成長した自分を中学時代の自分に見せてやりたい。



建設コース

贈る言葉

絆を大切に

建設コース 5年担任 吉村 洋

建設コース5年生のみなさん、ご卒業、誠におめでとうございます。みなさんは5年間の本科課程を収められ、創造力ある建設技術者として、第一歩を進んでいきます。また、専攻科・大学編入と、さらに高度な技術を習得していく人もおられます。これまで建設を学んできて、わかっていることと思いますが、建設の仕事は一人でできるものではなく、いろいろな人々と関係し、協力し合って進めていきます。だからこそ、阿南高専で関わりのあった人との絆を大切にしてください。それは皆さんの宝物になります。これからの社会、ますます多様化・複雑化が進んでいきます。建設の場面のみならずどのような局面にあっても、様々な人々とのつながりや協働が複雑な問題を解決する糸口となるはずです。皆さんは、これから歩いていく人生において更にいろいろな人と巡り合い、かかわっていきます。その新たな絆も大切に、自分の宝物をどんどん増やしていきましょう。そして、機会があれば、阿南高専まで立ち寄って、その宝物の話を聞かせてください。

■建設コース

1年担任	櫛田雅弘、山田洋平、谷中俊裕、西森康人
2年担任	今田 浩之 3年担任 松保 重之
4年担任	川上 周司 5年担任 吉村 洋

卒業を祝う

5年生の言葉

■苦手にも挑戦

泉 遥香

小さいときからグループワークのようなものが苦手でした。少し頑張ってみようと思い、2年生あたりから課外活動に参加するようになりました。人と意見を言い合ったり、グループで意見をまとめたりすることは、やっぱり難しいと感じました。でも、1年生の時よりも5年生となった今、より気を楽に言葉を発することができるようになったと感じます。苦手でやりたくないことでも、やらないと後悔することがきっとあると感じます。



■人生最後

岩佐 隼東

阿南高専での生活は着々と終わりに近づいている。阿南高専に入学し、人生最後という機会に何度も直面した。人生最後の授業、人生最後の部活動、このように、もう二度と取り組めなくなるものがたくさんある。これから卒業に近づくにつれ、これはさらに増えていくだろう。悲しい気持ちもあるが、後悔しないように取り組もうと考えている。一生懸命に取り組んで、満足できるまでのめり込んで、清々しいまでに完全燃焼したい。



■部 活

加藤 桃香

美術同好会に所属していました。元々、絵を描くのが好きだったので、部活は全く苦ではなく、むしろ楽しく過ごしていました。本格的に活動するのは、12月に開催される四国地区高専総合文化祭です。私は毎年、そこで絵を飾っていました。時間をかけて描き上げたおかげか、過去2回受賞したのは私にとって良い思い出です。好きなものについて、仲間たちと語り合う時間はとても楽しく、青春だったと実感しています。



■夏の思い出

国原 鈴乃

毎年夏になるとポカリスエットスタジアムに行って高校野球の試合を見ています。阿南高専に入学し



2年次の測量実習（北の脇にて）

て野球部のマネージャーをしていたのですが、夏の大会を見に行くたびに自分の最後の試合を思い出して胸がいっぱいになります。今まで多くの習い事をしてきましたが、自分の試合で涙を流したのはその時だけです。それも3年間続けてきて、あのメンバーで最後までやり切れたからだと思っています。私の素敵な夏の思い出です。



■一瞬でした。

久保 皓平

高専の5年間の生活、一瞬でした。入学当初、修学旅行もない学校で楽しんで生活を送れるのが不安でした。しかし、1年経たないうちに不安は消え去っていました。部活動では尊敬できる先輩に出会い、勉強では友人と一緒に教え合い、実習では新しい発見がある等、毎日充実した生活を送ることができました。今では、進路に困っている中学生に胸を張って阿南高専を紹介できるようになりました。最高の5年間でした。



■楽しかったぞ!!

坂野 翔哉

「競技終了です」。この一言で中学校から続けてきた陸上競技に幕が下りた。思えば部活をやめようと思ったことは何度もある。記録が出ない時やケガをした時、コロナで目標とする大会がなくなった時などだ。同級生がやめていく中で、どうしても自分の中で心残りがあり、決断できずにここまで続けてきた。「自分ならまだやれるはず」という信念を持ち努力を続けた。引退した今、親には感謝を自分には労いの言葉をかけてあげたい。



■青い春

田中 佑典

高専時代に最も力を入れたこととして、部活動が挙げられます。私はサッカー部に所属しています。日々の練習では苦しいことや辛いこと、試合で思い通りのプレーができず悔しい思いをしたことも多々ありました。しかし、そのたびに同じチームの仲間と助け合い励まし合いながら乗り越えることができました。私はこの経験を通してチームプレーの大切さを学ぶことができました。この仲間との5年間は私にとっての青春でした。



■阿南高専で得たもの

南 里佳

阿南高専に入学してよかったと思うことがたくさんあります。入学当初は新しい環境に慣れることがなかなかできず、勉強も難しく苦しいこともありましたが、今は、苦しくても周りの力を借りながら必死に勉強して得たものがたくさんあります。就職して必要となる専門的な知識だけでなく、ビジネス用語や文書の書き方など、役立つことをたくさん学び、社会人になる準備ができ、充実した高専生活を送ることができました。



2年生 白衣着用式

化学コース

贈る言葉

勉強の勉強

化学コース 5年担任 吉田 岳人

化学コース5期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本校の本科5年間をつうじて、皆さんは懸命に学んでこられたことと思います。しかしながら、教員が言うのも気がひけますが、これらは勉強の勉強、あるいは勉強の練習ともいえます。何故ならカリキュラム・シラバス等、教授内容が、あらかじめ準備・セットされており、教員主導で教授されるからです。実社会の技術者もしくは大学院の研究者として伸びてゆくためには、何を・どんな方法で・どのレベルまで、勉強しなくてはならないか、自分で考え・決めて実践してゆかねばなりません。これがホンモノの勉強です。これまで学んだことは、そのための基礎として必ず役立ちますが、これだけでは不十分です。生涯をつうじて、ホンモノの勉強を継続せねばなりません。さらなる研鑽と経験を積み重ね、「歴戦の技術者」として逞しく成長した皆さんに、再会できる日を楽しみにしています。

■化学コース

1年担任	櫛田雅弘、山田洋平、谷中俊裕、西森康人
2年担任	山田 洋 平 3年担任 中 村 厚 信
4年担任	杉 山 雄 樹 5年担任 吉 田 岳 人

卒業を祝う

5年生の言葉

■キャプテンとして

東 友理子

最も力を入れたことは部活動です。私はバレーボール部のキャプテンを務め、とくに部活動の環境整備に力を入れました。当時は少ない人数であったことからモチベーションの維持に苦労しました。そこで少人数でもできる練習内容を考え、下の学年のメンバーと積極的にコミュニケーションをとることを意識しました。今では人数も増えました。気さくに話しかけてくれるメンバーが大好きです。



■感謝申し上げます

天羽 正紀

私は阿南高専から、返しきれないような恩をいただきました。それは経験と成長、そしてここぞさしです。自分について特に考えもなく校門をくぐった入学式の頃と比べると、よい先輩、親身な友人、いつも新しい風を私にくださる先生方にお会いできたことで、少しは恩返しできるような人間に成長できたと感じます。この先より大きなものを背負える人として頑張ろうと思えるようになりました。卒業にあたり今一度感謝申し上げます。



■化学

岩 愛里花

何となく阿南高専に入学し、特に目標もなく、テストで赤点をとらないよう仕方なく勉強していた。しかし、化学コースに配属されてから、勉強に対する意識が少しだけ変化した。有機化学との出会いがきっかけである。さまざまな元素から新たな化合物を作り出す過程がまるでパズルのようで面白いと感じた。今まで勉強してきて面白いと感じたことは一度もなかったため、自分でも不思議だった。阿南高専で化学を学べたことに感謝したい。



■自分ルール

狩野 愛美

高専時代に最も力を入れたことは、周囲の人からの信頼を裏切らないように日々生活することである。学級委員長、吹奏楽部長、女子副寮長など責任ある立場を任せられ、自分ルールを作った。その中の一つが信頼されること、である。これを守ること、周囲の人から頼ってもらえたり、自分の意見を通したりすることができた。信頼は、する側もされる側も気持ちの良いことだと実感できた5年間だった。



■一期一会

榎 一加

入学当初、読んでいた本の影響もあり、入学初日に友達をつくろうと必死になっていた。柄にもなく初対面の人に声をかけ自己紹介をしあったことは、今では苦い思い出である。その後の生活でも人間関係や勉強のことなどでたくさん悩んだ時期もあった

が、周りの環境、友人などに恵まれたおかげで今の自分があり、割と満足している。出会ってくれた人すべてから良い刺激をたくさんもらった。出会ってくれてありがとう。



■この学校で得たもの

中川 彰人

4月から社会人になります。この学校で得た経験と人間関係は何にもかえがたいと思います。私は学生の模範となるよう、寮の環境委員、高専祭執行部、吹奏楽部など多くの活動に積極的に参加し実績を残してきました。時に悩み、辛い日々を過ごすこともありましたが、そういう時に支えてくれる友人、そして先生方が私の周りにはたくさんいました。そのことを忘れず、どんな時でも前を向く勇気を胸に、これから先の将来に向けて旅立ちます。



■迷い子、前へ進む

原田 翔矢

高専に入学したことを後悔した時期がある。自分の人生計画から大きく外れたからだ。しかし、今では感謝している。自分の性格や考え方を良い方向へ導いてもらえたからだ。まだまだではあるが、昔の自分と比べると心が広くなり、性格が良くなっている気がする。勉強に対する考え方も変わり、テストで点がとれたらいいという考えから、どれだけ内容を理解できているかに大きく変わった。自分自身が大きく成長できたことに感謝しかない。



■部活動

東出 真依

1年の春、高専の部活動に期待を膨らませ入部したソフトテニス部。同期部員が在籍せず、先輩とペアを組んだ4年間。男子部員に混ざり練習し、時には休日に先輩と2人で練習しました。先輩の最後の高専大会では準優勝し、全国大会にも出場したこと、忘れられません。今年も高専大会で準優勝できたのは、先輩方との4年間の日々の練習があったからだと感じています。長く短い5年間、こんなにも夢中になれたこと、誇りに思います。



4年生 教室講義風景

修了を祝う

専攻科

贈る言葉

身につけた力

2AE 担任 岡本 浩行

専攻科電気電子情報コース、ご修了おめでとうございます。電気電子情報コースで皆さんが学んだ電気電子情報技術は、今後の更なる発展が予想される分野であり、日本だけでなく世界中の様々なところで必要とされています。そのような技術を学び、経験し、身につけた皆さんは夢や希望に向かって大きく飛躍できる力も身につけました。これから始まる新しい生活の中で少しの失敗はあるかもしれませんが、そのときには自信を持って電気電子情報コースで身につけた力を使ってください。そして失敗に挫けることなく、さらに努力を積み上げ、世界から必要とされる技術者としての活躍を期待しています。

常に考え行動する技術者へ

2AM・AC・AZ 担任 長田 健吾

日本の人口減少が始まって10年が過ぎ、少子高齢化も急激に進んでいる。一方で人口が急激に増加している国・地域もあり、今後、各業界・企業において世界との競争（仕事・技術・資源などの奪い合い）がさらに激化することは容易に想像がつく。労働力は経済発展の基盤であるが、その減少が避けられない日本が世界との様々な競争に勝ち抜くためには、常にアイデアを出すことで改革・革新を進め、質とサービス（行動力）において手を抜かないことが重要であると思われる。競争の中では慣習や伝統にこだわらず、世の中（身近な人々～世界）が何を求めているか常に新しい情報を集め意識を持ち、斬新なアイデア×質×サービスの提供に貢献できる技術者として活躍してほしい。

専攻科2年生の言葉

■靴紐を締め直す

2AM 佐野 翔影

「この前入学したばかりなんだけどなあ」と季節の節目や催し事の度にばやくのが癖でした。これはさほど冗談のつもりではなく、16歳だった頃を本当につい最近のこのように思っています。光陰矢の如しとは言いますが、歳を重ねるほどに体感する月日の流れが加速していると強く感じます。あれ、もう専攻科も修了なんだ、と。

学業や研究、部活動に人間関係と、多様な困難に直面し、その度に少し大人になりました。今の自分がここの生活を振り返れば、どこをとっても「あの頃は子供だった」と思います。数年後、あるいは数十年後に人生を顧みた時、22歳の自分はどう視えているのでしょうか。今から楽しみでなりません。高専で歩いた道は終点ですが、私達はまだまだ旅の途中です。



■7年間の価値ある時間 ～高専だからできたこと～

2AE 黒田 駿輔

まず私の人生を大きく変えた高専そして専攻科との出会いに感謝し、この学校に来たことは間違っていなかったと心から感じているこの瞬間です。今こうして文章にしている中で、専攻科では書ききれない多くの有益な時間がありました。楽しみにしていた海外留学はコロナでなくなってしまいましたが、その分長期の企業インターンシップで自分が進むべき道を見つけることができました。また、同じクラスになった情報コースの学生を初め、多くの分野の学生や先生と時間を共にすることで、本科では経験できない時間を過ごせました。この7年

間を忘れずに世界の為に春から貢献します。関わって下さった全ての方に感謝します。高専ありがとうございます！



■忙しくも充実した日々

2AE 長尾 映哉

高専本科、専攻科での7年間は、あっという間に過ぎたように感じます。しかし、この7年間の学修を経て、自身の専門分野の知識の修得は然る事ながら、課題発見力や倫理観といった分野横断的能力を高められ、自身の価値観や考え方も変化し、成長したと確信しています。友人と協力し様々なコンテストに挑戦したり、留学やインターンシップで同志との出会いがあったりと、この高専での生活、経験は非常に貴重で充実したものでした。4月からは社会人として働くことになりましたが、高専での生活で得られたことを活かして、日々精進していきます。



令和4年度専攻科特別研究発表会を終えて

■専攻科で得たもの

2AC 泉 良樹

本科を卒業後、専攻科に進学してからの学生生活は短く感じたと同時に内容の濃い2年間でした。授業では、私の専門科目である土木・建設以外の専門科目を学び、他コースの知識や技術を身に付ける事が出来ました。また、専攻科では長期休暇を利用して複数の企業のインターンシップに参加し、この経験を就職活動に役立てる事が出来ました。そして、研究は本科5年生の1年間と専攻科の2年間で計3年間の研究を行うことができ、充実した研究活動が出来たと感じました。

また、研究を通して研究の計画、課題の発見と改善や研究結果の考察などを行った事で物事に対する問題発見能力や改善能力を養えたと思います。専攻科での学生生活は学習、就職や研究活動において有意義でとても貴重な時間を過ごす事が出来たと実感できました。専攻科で学んで身に付けた事をこれからの人生に活かしていきたいと考えています。

最後に技術者になる人間として有意義な7年間を過ごすことができた阿南高専と講義や研究活動を支えてくださった先生方に感謝いたします。

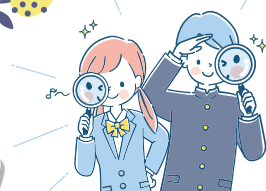


図書館便り



学生図書委員会の活動

ブックハンティングに行ってきました!!



10月30日(土)に紀伊國屋書店(旧そごう徳島店内)にて、ブックハンティングを行いました。短い時間でしたが、たくさんの本を選んでくれました。

～ブックハンティングに参加して～

1-2 上田 栞菜

ブックハンティングに参加して、僕は本を選ぶ大変さを感じました。予算内で本を選んでいくのですが、僕は気に入ったものを手当たり次第に選んでいったので、すぐに予算に到達した後から気に入った本が買えませんでした。このことから、もっと先を見通すことや全体を見ることが必要だと思いました。

ですが、ブックハンティングに参加して先輩方や同級生と話したり、沢山の本に触れられたので良かったなと思いました。

2M 前田 彩乃

今回ブックハンティングに参加して、本を選ぶ楽しさを改めて感じられました。興味を引き付けられる表紙や帯、POPなどをたくさん見つけました。その中から学校の図書館にふさわしい本を選び、とても貴重な経験となりました。

4E 中岡 涼太

私は、初めてブックハンティングに参加しました。有名作家のシリーズ小説や去年の本屋大賞を取った本、そして世界の歴史の本などの様々な分野の小説に巡り合うことができました。とても良い経験となりました。皆さんに興味を持ってもらえる小説を選出したのでぜひとも読んでほしいと思います。

4Z 鶴羽 美咲

今回、阿南高専図書館の蔵書となる本を選ぶという貴重な体験をさせてもらいました。普段は自分の好きな本は衝動的に買っていましたが、阿南高専生にふさわしい本を選ぶということで、それぞれの本が持つテーマやメッセージを考えながら、じっくり選びました。



学生図書委員オススの一冊

オススメしたい本のポップを描いてもらいました。その中からいくつかを紹介します。



「これぞ本物志向のミステリー」

新着コーナー 913.6 || A76

1年2組 谷澤心夏



「幼女戦記」

閲覧室 913.6 || Ka65 || 1
新着コーナー 913.6 || Ka65 || 2

2組 和泉ひより



「僕が君の名前を呼ぶから」

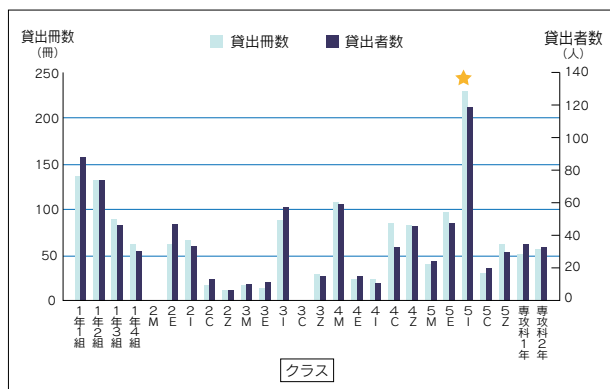
新着コーナー 913.6 || O86

4組 奈良拓海

紹介した本は図書館に配架しています。

クラス別図書貸出状況

2022年度4月～12月のクラス別貸出状況です。貸出の一番多かったクラスは250冊近くありました。



貸出数
NO.1
2022

全書架より

『下北沢であの日の君と待ち合わせ』
(神田茜著, 2021)

人気
NO.1
2022

資格試験コーナーより

『公式 TOEIC listening&reading 問題集 8』
(EST 著, 2021)

図書館では、毎月テーマを変えて展示を行っています。雑誌やDVDも充実しているので、本を読むだけでなく、勉強の息抜きに立ち寄ってみてください。新しい出会いがあるかもしれません！

今年度図書館を利用しなかった学生さんも、来年度はぜひ利用してみてください!! 図書館のお知らせはmanabaにて掲載しています。

学生アルバイトより

一年間、学生アルバイトをして思ったことを綴ってもらいました。

5E 松下知矢

1年間、図書館アルバイトを通して印象に残っていることは、POP作りです。たくさんのジャンルの本と出会うきっかけを与えてくれました。さらに、自分でPOPを作った本が借りられた時は、とてもやりがいを感じました。来年度、社会人になる自分ですが、報告・連絡・相談のほう・れん・そうはどんな仕事であっても意識するべきだなと感じました。

4M 奥谷義光

アルバイトの経験がなく、初めは不安でいっぱいでした。特にコロナウィルスの緩和で学外者の入館が可能になった時は急な出来事で戸惑うことがありました。でも共に働いている社会人の方が優しく教えてくださって、ハプニングもありましたが充実した1年を送ることができました。この経験を活かして、これからも頑張っていきたいです。

一年間お疲れ様でした!!

図書館職員からの推薦図書

学生時代にやらなくてもいい20のこと

朝井 リョウ 著 *閲覧室 : 914.6 || A83

周りに人がいない状態で読んでください。思わず声を上げて笑ってしまうエッセイ集です。自己啓発本のようなタイトルに惹かれると大間違い。

著者の体験談が、まるでコントや一人漫才のように書き綴られています。お笑いが好きな人へおすすめです。勉強の間にさっと読んで息抜きをしてみてください。



世界がぐっと近くなるSDGsとボくらをつなぐ本

池上 彰 監修 *新着コーナー : 333.8 || I33

最近よく耳にするSDGs。

なんだか難しそうと思っている人はぜひこの本を読んでみてください。これは最高にわかりやすいSDGsの解説本です。イラストで解説されているので、簡単に理解できて、さらさらと読めます。未来の自分たちのために、17項目から気になる箇所だけでも見てみてください。

